

まちぴあ

身近なつながりに出会おう



TAKE FREE
無料

特集 学校を核とした地域力向上の事例紹介

身近なところで自然と出会い、
自然を通じて人と出会う。



ほっとねっと フリーランド(宇都宮不登校親子の会)

まちぴあ登録団体紹介

クラリネットアンサンブル レイクラッツ/キラキラママサークル

まちづくりリレーコラム 楽しみながらつながり合って地域をつくる

地域みんなで作る 放課後子ども教室

今回で紹介する峰小学校放課後子ども教室は、約210名の児童が登録されていて、週4回ほど活動しています。主な内容は、算数、工作、そろばんなどの学習から、お琴や卓球、水泳といった文化活動やスポーツなど。学校の中庭にはピオトープやピザ窯が整備されていて、身近な場所ですら自然観察などのアウトドアまで体験できます。土日には地域外に出向いて、さまざまな自然体験を行っているところが大きな特徴のひとつです。

管理運営はコーディネーターが担い、講師や見守り役として地域のボランティアが支えています。現在、コーディネーターを務める小野浩一さん（64歳）は、教室の立ち上げから運営の中心的役割を担ってきた地域のキーパーソンというべき存在です。学校や地域、保護者との連絡調整をするだけでなく、事務局として事業の準備から年間計画、運営など幅広い役割を担っています。自他ともに認める「虫捕り名人」「魚釣り名人」でもあり、自然環境分野のまちづくりに携わっている経験を生かして、子どもたちに生きもの調査や農業体験の場を提供しています。

「フィールドワークを通じて、本やインターネットでは得られない身近



Local Community Revitalization



①自分たちの手で直接捕獲した水槽内の生き物をじっくり観察 ②手で植える昔ながらの田植えを親子で体験する「田んぼの学校」での一コマ

学校を核とした地域力向上の事例紹介

身近なところで自然と出会い、自然を通じて人と出会う。

夫婦共働きやひとり親世帯の増加によって家庭教育が困難となりつつある現在、地域とのつながりも希薄化し、子どもたちを取り巻く環境が厳しさを増しています。そんな中、特色を生かした地域活動を展開することで、子育てを支えるとともに、さまざまな人材を発掘し、豊かなまちづくりに貢献している峰小学校放課後子ども教室をご紹介します。やはり欠かせなかったのは、地域づくりや情報発信に強い意欲と行動力を持ち、継続する仕組みをつくり、多様な人材をつなげることができるキーパーソンの存在でした。



じっくり自然に触れる フクロウの観察会

外部の自然保護団体などとコラボして、宇都宮市北部に位置する農村部である逆面町を中心にフクロウの観察会を実施。専門家のフクロウの生態解説もあって本格的な内容。猛禽類のフクロウは、食物連鎖の頂点にいて、フクロウが生息できる地域は豊かな自然の証明にもなるのだとか。



「食」の役割や大切さを 農業体験から学ぶ

NPO法人グラウンドワーク西鬼怒や農業士など専門家の協力を得ながら、田んぼでお米作りや畑での野菜作りといった農業体験と、それを食材とした食体験を行っています。自分の口にするものがどうやって作られているのか。作ってくれる人への感謝の気持ちを学べる貴重な体験の場。



「子どもたちは、生きもの調査でめずらしい昆虫を見つけたときなど、普段とはまったく異なった表情をのぞかせることがあります。家族の前で見せる表情とも、学校で見せる表情とも

違う素の笑顔。そんな表情に出会えることにやりがいを感じます」と小野さんは嬉しそうに話してくれました。地域資源を活用したまちづくりという聞こえはいいですが、まちづくりは一朝一夕でできるようなものはありません。であるからこそ、小野さんのように熱量を持って、周囲を巻

き込みながらブレずに行動する推進力が不可欠です。今回の取材を通して、あらためて人材こそが地域力の源泉だと感じさせられました。まちづくりはひとづくり。その結果として、子育て環境の充実地域への愛着や担い手の増加といった好循環へつながっていくのでしょうか。

な自然に触れて、五感をフルに使った新たな発見に出会ってほしい」と話す小野さん。これまでに培ってきた人脈を惜しげもなく活用して、農業体験をするときには農業博士、フクロウの観察会には宇都宮大学の准教授、化石発掘の際には博物館の学芸員といった専門家を招き、子ども教室というにはあまりにも本格的な内容です。傍から見ると一番楽しんでいるのは小野さんではないかと疑いたくなるほど童心に戻って取り組む姿勢は、そのまま子どもたちの好奇心にまで伝播しているように感じられます。



③用水路にすむ魚類、カエル、昆虫類を調査 ④大きなウシガエルを捕獲! ⑤スルメイカでザリガニをゲット! ⑥石窯で焼いた本格ピザづくりに挑戦 ⑦中庭のビオトープにて生きもの調査と池そうじ

イベント 情報

おお がね 大金で化石を探す

ジオパークの教育資源である十二口沢沿いで地層と化石の観察や採集を行います。自然に親しみ、自然の大切さを理解する学びの機会です!

日時

2024年7月27日(土) 9時30分集合

参加費 一人につき 300円 (当日に集金します)

- 開催場所 ▶ 十二口沢沿い (集合場所から車で移動があります)
- 集合場所 ▶ 南那須B&G海洋センター駐車場 (那須烏山市岩子170)
- 参加対象 ▶ 小学生親子 (30家族程度) ※先着順受付
- 持ち物 ▶ 着替え、長靴、長ズボン、軍手、新聞紙 (化石を包むため)、飲み物、虫よけ等、ハンマー、タガネ (持っている方)
- 注意点 ▶ 泥んこになる前提でご参加ください。イノシシや蛇が生息しています
- 申し込み ▶ ショートメールにて参加者全員の氏名、年齢、連絡先電話番号をお知らせください (090-4943-1033)

講師 那須烏山市生涯学習課文化財G 柏村勇二氏
栃木県立博物館名誉学芸員

主催 峰小学校地域協議会

後援 峰小放課後子ども教室 (峰の寺子屋)・NPO法人クラブサンク



峰小放課後子ども教室コーディネーター

小野 浩一 さん Kouichi Ono

宇都宮市出身。伊勢元酒店をはじめとした伊勢元グループの代表を務める傍ら、峰小学校地域協議会、峰小学校同窓会会長、峰地区まちづくり推進協議会理事、NPO法人クラブサンク理事など、多くの地域活動に携わっている。主に自然環境分野への造詣が深く、峰ふくろう倶楽部代表、こどもエコクラブチームミネ代表、NPO法人グラウンドワーク西鬼怒監事など多数兼任。「虫捕り名人」「魚釣り名人」と子どもたちから親しまれるなど、地域づくりに欠かせない存在となっている

まちづくり活動仲間が目指すもの

ほっとねっと

No. 50

「安心できる居場所を目指して」

もうすぐ夏休みを迎えようとしています。夏休み明けは最も不登校の人数が増える時期であり、その一方、不登校を解決するチャンスでもあります。不登校は特別な子どもがなるわけではなく、誰にでも起こりうる問題です。今回は不登校について長年支援活動している家族会取材しました。



清掃ボランティアには、いろいろな世代が集まります

「元気になる茶話会」

「フリーランド」は、宇都宮市を拠点に、2018年11月に発足しました。当時、自身の子もがいじめを原因に不登校となり、学校との関係に苦慮していた団体代表が、学校以外の相談の場として、市外の家族会に参加したことをきっかけに、母親を中心に月1回の茶話会を開催したことが活動のはじまりです。



フリースクール、通信制高校の情報も交換している茶話会

不登校問題は、どうしても周りの目を感じてしまうもので、子どもやその家族も孤独になりがちです。市外の家族会に参加し、元気になったという体験から居場所の重要性を実感した代表だからこそ、はじめることができたのだと思います。現在までに、100以上の家族や支援機関とながりをもち、不登校や子育て、障がいなどについての学習会も行っています。

「学校外の社会とのつながり」

親だけでなく、子どもたちを対象にした交流や体験活動を目的とした「子どもの居場所」も実施しています。宇都宮市内で活動しているボランティアグループと連携し、清掃活動や登山、料理教室の体験などを実施。ときには、宿泊をとまなう旅行を企画するなど、さまざまな世代の大人、子どもたちとの交流を生み出しています。この活動をきっかけに、新たな友人ができるなど、少しずつ信頼関係が構築されてい

るそうです。

こうした、家族や学校以外の人とのつながりを持つことが、社会とのつながりを維持、発展することになります。不登校に悩んでいる今だからこそいろいろと学べるチャンスだと、前向きな気持ちを育み、問題を解決する力になっています。

「安心できる居場所を増やしたい」

フリーランドの活動は、職場や学校、自宅でもない第3の居場所（サードプレイス）と言われるものです。こうした居場所を、子どもたちに最も身近な学校の中につかっていきたいという夢があるそうです。「校内居場所カフェ」という取組みで、東京や千葉など他県では多くの事例があつて、すでに県内の高校でもはじまっています。学校の中に気軽に立ち寄れて、悩みだけ

なく、いろいろな気持ちを分かち合えるカフェのような場所があれば、もっと早い段階で不登校を防ぐきっかけをつくれるかもしれません。
この取組みは、子どもたちを支えたいと思う市民と学校の連携の場になり、不登校という問題を地域全体で解決していくという社会づくりにつながっていくと思います。



ボランティアの高校生と一緒に楽しむ居場所

フリーランド 宇都宮不登校親子の会

E-mail: freeland3964@gmail.com

URL: <https://tochigi-freeland.org/>

取材後記

「不登校は子どもから大人への宿題」という言葉に感銘を受けました。茶話会にも参加し、親御さんたちが真剣かつ前向きに不登校という問題に立ち向かっていました。大人が子どもと一緒に考えて、行動すること自体が社会を変えていく力になると思いました。(小倉)

ちよつと気になる

コレクション

見た目も味も
イチゴそのもの

「なつおとめ」って知っていますか？その名の通り、真夏に収穫できるイチゴで、県内だけで作られている希少な品種です。大谷地区では夏でも気温10℃という石材採掘跡地の地下水を活用



ベルテラシェ大谷特設コーナー他、県内各所で購入できます

することで栽培を可能にして

なつおとめ
フリーズドライ



10P
3,240円(税込)



ロックベリー事業部
TEL.0120-086-915
<https://rockberry.jp>

みとさわやかな酸味が特徴で、「夏に美味しいイチゴが食べられるなんて」と、都内のホテルフェアでも大好評だぞつ。

わせも多く、黒を基調としたお洒落なパッケージはとちぎの新しい手みやげにピッタリです。

とっておきの

若者のための

サードプレイス

市中心部に新しくできた「若者まちなか活動・交流センター」は、将来を担う若者たちが気軽に立ち寄れるサードプレイスとして、昨年

関心空間

11月に開館しました。学習室で勉強する高校生やふらっと立ち寄る市民など、さっそく多くの利用者が訪れています。フリーWi-Fi完備で、コン

MACHI DUKURI TOPICS



「まちづくりって何？」そんなアナタにディープな地元ネタから、今が旬のレア情報まで、まちぴあから“まちパワー”を発信します!!

ます。1階にはリースペースのほか、打ち合わせなどに利用できるミーティングルームや落ち着いて勉強ができる学習室があり、2階には講座などに利用できる研修室が配置。いずれも無料で利用することが可能です。

若者まちなか活動・交流センター

〒320-0026 栃木県宇都宮市馬場通り1-1-1 (二荒山会館)
【開館時間】平日：正午から午後10時
土日祝日：午前10時から午後10時
【休館日】年末年始(12月29日から1月3日まで)
TEL.028-678-8844



フリースペースは全部で70席ほど。開放感たっぷりの明るい空間です

うつつのみや発の

表現であらゆる人の
“LIFE”に彩りを

パラスポーツなど身近な存在になつてきましたが、一緒に身体を動かす機会はなかなか少ないのが現状です。インクルーシブダンスは、

話題人

おおむらゐあゆみ
大村恵さん

インクルーシブダンスぱれっと代表
出身：北海道旭川市
好きな物：コーヒート、チョコレート



障がいの有無に関わらず、みんなが自分の身体で自由に創造し生き生きと表現するダンスです。一緒に踊ること、障がいのある人と関わるのは難しいといったイメージを取り除くことができるのではと、2022年「イン



「桜を咲かせよう」を表現。ハイブリット開催で現地に来られない人も楽しめる

「心や身体、関係を彩り豊かに。身体的表現を通じて、「コミュニケーションを楽しむことを経験してみませんか？」と大村さん。今後は対象を拡げて、海外にルーツのある方とのワークショップも実施したいと考えています。共に活動してくれるメンバー募集中です。

E-mail: info@includivedance-palette.com
URL: <https://includivedance-palette.com/>



ママも子どもも笑顔で楽しく

「子育ての悩みなどを共感共有して、集うママたちが楽しみながら子育て」をコンセプトに、ハンドメイドなどのママ向け講座などを行っているキラキラママサークルさん。参加者も講師の先生方もママさん同士、お互いに気持ちを理解し、寄り添いながら活動しています。好きなものだけ単発で参

加することも可能です。活動開始から10周年の今年、お子さんたちの年齢も上がってきたことから、子どもたちが実践を通して学ぶ場をより増やしたいと、子どもたちが出店や買い物をする「リアルおみせやさんごっこ」を始めました。仕入れや商品作り、当日の販売を一手に担う子

ども店長が、手作り射的やクレーンゲーム、ハンドメイド作品の販売などさまざまなお店を準備し、購入するのは主に低学年の子どもたち。一人のお買い物だって大冒険で「できた！」が自信につながります。



他団体さんとコラボして書道教室も開催

小さなお子さんがいる方はぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

【団体名】 **キラキラママサークル**

- 【代表者】 虻川貴美子
- 【活動場所】 宇都宮市まちづくりセンター など
- 【活動日時】 不定期
- 【連絡先】 Instagram、Facebook アカウント (検索すると出てきます)



ろまんちっく村のイベントにて演奏を披露

クラリネット演奏で子育て支援

子育てサロンや幼稚園からの依頼を受けて、クラリネットアンサンブルの訪問演奏をしている「レイクラッツ」さんをご紹介します。

ももとは、子どもが通っていた幼稚園の謝恩会で、吹奏楽経験のあるママ友がグループを結成して演奏したことがきっかけで、2018年に正式に団体を立ち上げました。現在4人のメンバーで、それぞれ子育てや仕事などの合間を縫って、演奏活動を続けています。演奏時間はおよそ30分。ちいさなお子さんが知っているメロディーや、子育て中のお母さんが癒されそうな楽曲を選ぶなど、みんなが楽しめる工夫をしています。

「アンサンブルは、お互いに独立したパートの旋律を演奏する中で、自然と生まれる調和やバランスが取れたときの一体感が心地よく、醍醐味のひとつ」と話すのは、メンバーの久積さんと小針さん。



YouTubeチャンネルも運営中。ぜひ検索してみてください

今年度は5か所の子育てサロンにて演奏予定だとか。興味がある方は宇都宮市のHPをご確認のうえ、ぜひご参加ください。

【団体名】 **クラリネットアンサンブル レイクラッツ**

- 【代表者】 小針由紀 (こばり ゆき)
- 【連絡先】 TEL.028-661-2778
- 【活動場所】 宇都宮まちづくりセンター
- 【活動日時】 月4回程度





いわの 俊宗
プロフィール

宇都宮大学国際学部卒業後、宇都宮市民活動サポートセンター入職。NPO・ボランティア支援、個別SOS等のボランティアコーディネーターに従事。若者による社会づくりを目的に、とちぎユースサポーターズネットワークを設立。同法人の代表理事を務める

書籍紹介 まちづくりを考える この一冊！



明石市長 泉房徳 著
「社会の変え方」

日本の政治を
あきらめていたすべての人へ

ライツ社 2023年1月31日発行

このコーナーでは市民のみならず、市民活動関係者、行政関係者などからのご意見、ご感想をお待ちしています。紙面上での意見交換へと発展することを期待します。ご意見・ご感想はまちびあ広報部へ。

現在、私が暮らす宇都宮市西地区で、多世代交流型の地域支え合い活動として、地域の子どもたち（小中高生）が、一人暮らしや高齢者のお宅の草むしりのお手伝いに伺い、庭をきれいにするとともに依頼者とお茶やお菓子を食べながら交流する取り組みを行っています。

2022年からはじめて、現在10回、延べ53名が参加してくれました。依頼者からは費用をいただき、その一部を「お駄賃」

として子どもたちの謝金として還元するほか、依頼者のご厚意でお茶やお菓子を提供してもらうなど、縁側で子どもたちと依頼者がお話している姿もこの活動ならではの光景です。

子どもたちは「ありがとう」と直接言われることや、自分たちの関わりで着実に風景が気持ちよく変わっていくことなど、継続していて参加するモチベーションになっているようです。

この活動をはじめると、自治会、民生委員、地域包括支援センター、市や県の第二層協議体を推進する部署など、数多くの打ち合わせをしました。地域の支え合いを前に進めようとそれぞれが取り組む中、地域住民から「助けてほしい」という声が上がってこないことが大きな課題でした。そこには、距離が近いからこそ「見せられない弱みやプライド」があると捉えました。同世代の支え合いでは、助けを求めることがかえって「自分を哀れに感じてしまう」そんな心理もあるように感じました。そこで、関わる世代を変えること

と、もう一つ、「助けてほしいから」ではなく、「来てくれるのが楽しみにする」という理由そのものを変えること、この二点の変化を考えていきました。また、子どもたちも「守られる存在」ではなく、「彼らが喜びを創り出せる存在」と捉えることも、この支え合い活動を実現できた大きな要因だったと感じています。

この活動は、今後の地域の担い手の育成、また地域課題の解決が求められる地域社会において子どもや若者たちの実践力と自己肯定感を高められる支援チームの形成という延長線上に捉えております。

今後は、部活動の地域移行の話なども具体的に動き出すことと思います。その際に、「地域活動部」のようなものを、中学生だけでなく、小学生、高校生、大学生、20代社会人によって構成し、顧問やサポートとして地域の大人たちが加わることで、その受け皿になりたいと考えています。

自分たちが住み続けたい地域を楽しみながら自ら創り出していく。そんな動きを今後も続けていきたいです。

楽しみながら つながり合って 地域をつくる

岩井 俊宗 氏

まちづくり
リレーコラム
vol.22



まちびあ
から
PICK UP!

みんなとわいわいの価値 for(ために)からwith(ともに)へ

私たちはいま、結果のみを重視する社会に生きています。最短の目的達成が求められ、失敗が許されない中で、みんなで一緒に試行錯誤することこそが「遊び」であり、よりよい地域社会を築くためには必要不可欠であると筆者は語っています。

本書は、この「遊び」の時間をどのようにしていくかをテーマとして、コロナ禍をはさんだ5年間での全国各地のさまざまな学びや、遊びの場づくりの事例を紹介しています。第1章子どもと大人で

う学校行事「トークフォークダンス」の将来性や、第2章自治会や、PTA活動への負担感や忌避感をどう減らしていくかなど、身近な問題の実践例はとても参考になり、各章末のコラムは筆者自身の試みが書かれています。

大切なのは一緒につくること。そこに信頼が生まれ次のあそびの時間を生み出します。「何かあったら困るので」「何かあっても大丈夫」に変えてみませんか。人や社会との関係づくりに役立つ一冊です。



『あそびの生まれる時』

「お客様」時代の
地域活動コーディネーション

西川正 著/ころから
2023年3月発行

イベント情報

まちぴあオープンデー 「くすりのリスクを学ぼう」

日頃から馴染みのある常備薬など、身近な薬についてあらためて学び、上手な薬との付き合い方を考えてみる健康講話です。健康管理士さんと一緒に、素朴な疑問からちょっとした不安まで解決しましょう。

日時 2024年 7月22日(月) 13:30~15:00

会場 まちづくりセンターまちぴあ

定員 15名程度(先着順) **参加費** 無料

問合せ 宇都宮市まちづくりセンターまちぴあ



講師
栃木県健康管理士会 会長
佐久間 辰雄 氏

市民活動助成基金 ご協力ありがとうございます

- 高全工業 有限会社
- 渡辺建設 株式会社
- 宇都宮屋台横丁
- 合名会社 竹田商店
- 森谷健太郎 (敬称略)

市民活動助成基金とは

宇都宮市では、ボランティア活動やNPO活動を活発にし、全市的に広げていくため、これらの活動を市民、企業、行政のみんなで支える仕組みとして「市民活動助成基金」を設置しています。

この基金は、市民の皆さんによる「市民活動を応援する気持ち」である寄附金を積み立てるとともに、宇都宮市が寄附金と同額を支出して、積み立てています。

ボランティア団体やNPO法人の活躍により、宇都宮を活気ある、すてきな街とするため、市民の皆さんのご協力をお願いいたします。

宇都宮市役所 みんなでまちづくり課
まちづくりグループ TEL.028-632-2886
URL: <http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/>

※トップページ▶(分野別で探す)
市民協働・コミュニティ
▶ボランティア・NPO

スマホアプリをダウンロードして
まちづくり活動に参加しませんか?

ボランティア
専用アプリ

まち活
愉快だ
宇都宮

QRコードに
アクセス!

宇都宮市まちづくり活動応援事業 検索

情報誌「まちぴあ」の
バックナンバーが
ご覧いただけます。

最新情報にアクセス!
<http://www.u-machipia.org>

まちぴあ 検索

まちぴあ新規登録団体 (2024年4月30日現在 登録団体数 173団体)

整活くらぶ

暮らしの中の「整える、活かす」をテーマにした情報発信や講座、交流イベントの開催を通して、日々の快適な生活のサポートする

遊びライフマジック

高齢者などをはじめとした市民の居場所づくりを通して、個食や孤独の解消に資する活動を行う

国際交流サークルともだち

外国人の方々が、日本の言語・文化に対する知識を深め、より安心かつ楽しく地域社会で生活できるように国際交流の場を設ける

シニア生まれ変わりPI 会いてィ(IT)なかまの会

地域高齢福祉関係者の共通課題をデジタル化により解消させ、正確でスピーディに活動することを目指して、シニア世代のデジタル化を促進する

NPO法人ヴィジョン

コミュニケーションスキルをベースとした「人財」育成による子育て、就労、高齢者支援などの社会課題に向けた支援

みゆスタ

「人々との協働」をテーマに、個人、企業、公共組織など他分野の人々が連携して、文化的活動を楽しめる環境整備や維持のための活動

Mriya

災害時の被災地支援や物資輸送を主な活動として、被災者の安心安全を心がけ、現地ニーズにあわせた地域貢献を目指して活動する



宇都宮市まちづくりセンター まちぴあ

(指定管理者：認定NPO法人 宇都宮まちづくり市民工房)

〒321-0954 栃木県宇都宮市元今泉5丁目9-7

TEL.028-661-2778 / 028-661-2779
FAX.028-689-2731

E-mail: info@u-machipia.org URL: <http://www.u-machipia.org>

開館時間 午前9時から午後9時30分まで(日祝は午後5時まで)

休館日 年末年始(12月29日~翌年1月3日)
臨時休館(施設点検等)

JR宇都宮駅東口から徒歩15分 駐車場28台

まちぴあ情報誌の音訳版もございます。ご希望の方はまちぴあまでご連絡ください。